

美術科学習指導案（第1学年）

I 題材名 細部に込めた思い（素描）

II 学習指導要領上の位置付け

A 表現

(1)ア(ア) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

(2)ア(ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。

(イ) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。

〔共通事項〕

(1)ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

III 目標

身近なものを素描で表現する作品づくりを通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア（知識・技能）

- ・モチーフを大まかに捉えたり、固有色で見つめたりする視点や陰影の表し方や構図などが感情にもたらす効果が分かる。
- ・意図に応じて鉛筆の使い方を工夫したり、見通しをもって表したりできる。

イ（思考力・判断力・表現力等）

- ・モチーフと自分の関わりから主題を生み出し、主題を表すための表現方法を発想し、構想できる。
- ・作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどして、陰影の表し方や構図などが感情にもたらす効果を理解し、見方や感じ方を広げることができる。

ウ（学びに向かう力・人間性等）

- ・主題の実現のために意欲的に表現活動に取り組もうとしたり、制作した作品のよさを味わおうとしたりする。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／8）

1 ねらい 参考作品を鑑賞し、主題や表現の工夫などを想像しながら本題材の作品について話し合う活動を通して、活動のイメージを膨らませ、題材の課題を立てることができるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子どもの意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>○参考作品を提示して本題材で制作するものについて知らせる。</p> <p>○参考作品を鑑賞して、活動の見通しや題材の課題を立てることを提案する。</p>			
<p>めあて 先輩の作品の鑑賞を通して、学習目標を立てよう。</p>			
<p>2 参考作品を鑑賞し、描かれているものや作者の考え、表現の工夫などをワークシートにまとめ、本題材について話し合う。（30分）</p> <p>○活動に見通しをもったり、題材の課題を立てたりするために、参考作品の鑑賞を通して、本題材でどんなものを描き、何を表すかをつかむ。鑑賞活動を通して考えさせる内容は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんなものをモチーフに選んでいるだろうか」 ・「(複数の作品から1枚を選んで) 作品の主題は何だろうか」 ・「描くときにどんな工夫をしたらだろうか」 <p>○まとめた考えを班で共有し、話し合う活動を通して、作者の考えや表現の工夫について見方や考え方を広げる。話し合う内容は次の通り。</p> <p>①選んだ作品について主題と見つけた描き方の工夫を紹介するかたちで発表する</p> <p>②発表を聞いて考えたことや感じたこと、自分なりの見方を話し合う。</p>			
<p>3 展開2の活動を生かして、題材の課題や活動の見通しを立てる。（10分）</p> <p>○展開2の鑑賞活動から本題材の課題をどのように設定したらよいか問いかけ、全体で共有しながら教師がまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんなものをモチーフにしたらよいだろうか」 ・「どんなことを表したらよいだろうか」 ・「制作ではどんなことを工夫したらよいだろうか」 			
<p>題材の課題（学習目標） 身近なものをよく観察し、構図や描き方を工夫して、主題を表そう。</p>			
<p>○学習計画表や資料集で今後の活動を確認したり、モチーフを何にするか問い掛けたりして、次時に見通しをもたせる。</p>			
<p>参考作品を鑑賞し、主題や表現の工夫などをまとめながら本題材について話し合い、活動のイメージを膨らませ、題材の課題を立てている。 〈発言・プリント（関心・意欲・態度）〉</p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする（5分）</p> <p>○振り返りシートに本時の活動を振り返り、考えたことや学んだことをまとめるよう促す。</p> <p>☆先輩の作品を鑑賞して、使い慣れた愛着のあるものをモチーフに描いている人が多いと思った。画面構成や描き方を工夫して、モチーフとの思い出を表そうとしているのだと思う。私も部活道具の○○をモチーフにして描いてみたいと思った。どんな主題にするかモチーフをじっくり観察して考えてみようと思う。</p>			

V 本時の展開（2/8）※公開授業

- 1 ねらい モチーフを自分との関わりで見つめ、思いや願いなどを言葉で整理する活動を通して、主題を生み出し、主題を効果的に表すための構図や大切に描きたい部分を考えながらスケッチして、作品を構想できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子どもの意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>○前時に鑑賞した参考作品を提示し、主題を想像した活動を振り返らせ、作品づくりを始めるにあたって、どんなことから考えたらよいか問い掛ける。</p> <p>○主題を考えることと、スケッチをしてイメージを膨らませることを提案する。</p>			
<p>めあて 主題を考え、スケッチでイメージを膨らませよう。</p>			
<p>2 モチーフを自分との関わりで見つめ、思いや願いなどを言葉で整理していく活動を通して、主題を生み出す。（15分）</p> <p>○班になり、モチーフへの思い入れなどを語り合わせ、主題のイメージを膨らませる。</p> <p>○思いや願いを言葉で書き留めさせ、整理して、主題にまとめさせる。</p> <p>○思いや願いを具体的に表すことができた生徒の主題を全体に紹介し、参考とさせる。</p> <p>○主題がまとまらない生徒には、「なぜこのモチーフを選んだのか」「どんな体験（嬉しいこと・悲しいこと・辛いこと）があったか」などを問い掛け、思いや願いにつながる言葉を引き出したり、班員の生徒の主題を参考にさせたりする。</p>			
<p>3 前時の鑑賞活動を振り返り、デッサンスケールを用いて主題を効果的に表すための構図や大切に描きたい部分を考えながらスケッチに表し、作品を構想する。（25分）</p> <p>○前時の鑑賞活動を振り返らせるとともに、デッサンスケールを用いることでモチーフの配置や余白などの視点をもって構図を考えることができるようにする。</p> <p>○デッサンスケールの使い方を実物投影機を用いて演示したり、スケッチの描き出しを教師が演示したりすることで、活動のイメージをもたせ、取り組みを促す。</p> <p>○「どうしてこの構図にしたのか」や「どの部分をじっくり描こうと思っているか」を問いかけ、生徒から考えを引き出し、全体に紹介して、参考とさせる。</p>			
<p>モチーフを自分との関わりで見つめ、それを基に主題を生み出している。また、主題を効果的に表すために、デッサンスケールで構図を考え、スケッチしたり、考えを言葉でまとめたりしている。</p> <p style="text-align: right;">〈観察・プリント（発想や構想の能力）〉</p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする（5分）</p> <p>○振り返りシートに本時の活動を振り返り、考えたことやできたこと、次時の課題をまとめるよう促す。</p> <p>☆モチーフと関わってきた時間を振り返ると部活で辛かった時期や嬉しかった瞬間を思い出した。そんな経験（モチーフとの時間）を作品に表したい。</p> <p>☆モチーフと関わってきた時間をよく表している部分は、グリップの汚れやフレームの傷だと思う。主題を表すためにこれが分かるように画面を構成してスケッチした。</p>			

指導計画 美術科 第1学年 題材名「細部に込めた思い（素描）」（全8時間計画）

目標	<p>身近なものを素描で表現する作品づくりを通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア・モチーフを大まかに捉えたり、固有色で見つめたりする視点や陰影の表し方や構図などが感情にもたらす効果が分かる。(知識・技能)</p> <p>・意図に応じて鉛筆の使い方を工夫したり、見通しをもって表したりできる。(知識・技能)</p> <p>イ・モチーフと自分の関わりから主題を生み出し、主題を表すための表現方法を発想し、構想できる。 (思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどして、陰影の表し方や構図などが感情にもたらす効果を理解し、見方や感じ方を広げることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>ウ・主題の実現のために意欲的に表現活動に取り組もうとしたり、制作した作品のよさを味わおうとしたりする。 (学びに向かう力・人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1)主題の実現のために意欲的に表現活動に取り組もうとしたり、制作した作品のよさを味わったりしている。</p> <p>(2)モチーフと自分の関わりから主題を生み出し、主題を表すための表現方法を発想し、構想している。</p> <p>(3)意図に応じて鉛筆を効果的に扱い、見通しをもって表している。</p> <p>(4)作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどして、陰影の表し方や構図などが感情にもたらす効果を理解し、見方や感じ方を広げている。</p>			
過程	時間	<p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り（意識）</p>	<p>◇評価項目 〈方法・観点〉</p>
出会う	1	<p>○参考作品を鑑賞し、描かれているものや作者の考え、表現の工夫などをワークシートにまとめ、本題材について話し合う活動を通して、活動のイメージを膨らませ、題材の課題を立てる。</p> <p>本時のめあて 先輩の作品を鑑賞して、学習課題を立てよう。</p> <p>題材の課題（学習目標） 身近なものをよく観察し、描き方や構図を工夫して、主題を表そう。</p>	<p>☆先輩の作品を鑑賞して、使い慣れた愛着のあるものをモチーフに描いている人が多いと思った。画面構成や描き方を工夫して、モチーフとの思い出を表そうとしているのだと思う。私も部活道具の○○をモチーフにして描いてみたいと思った。どんな主題にするかモチーフをじっくり観察して考えてみようと思う。</p>	<p>◇参考作品を鑑賞し、描かれているものや作者の考え、表現の工夫などをワークシートにまとめ、本題材について話し合い、活動のイメージを膨らませ、題材の課題を立てている。</p> <p>〈発言・プリント(1)〉</p>
広げる	1	<p>○モチーフを自分との関わりで見つめ、思いや願いなどを言葉で整理する活動を通して、主題を生み出し、主題を効果的に表すための構図をモチーフの配置や余白などの視点から考えてスケッチに表す。</p> <p>本時のめあて 表したいこと（主題）とそのための表現方法を考えよう。</p>	<p>☆モチーフと関わってきた時間を振り返ると部活で辛かった時期や嬉しかった瞬間を思い出した。そんな経験（モチーフとの時間）を作品に表したい。</p> <p>☆モチーフと関わってきた時間をよく表している部分は、グリップの汚れやフレームの傷だと思う。これを表すためにグリップを手間にして大きく見せた。</p>	<p>◇モチーフを基に主題を生み出し、主題を効果的に表すための構図をモチーフの配置や余白などの視点から考えてスケッチしている。</p> <p>〈観察・プリント(2)〉</p>
表す	1	<p>○前時のスケッチを生かして画用紙に構図を取り、モチーフを大まかな形でとらえてあたりを付ける。</p> <p>本時のめあて スケッチを生かし、大まかに形をとらえて描こう。</p>	<p>☆前時に考えた方法で構図を決めつつ、微調整をした。画面の上下左右に目印を付けることでイメージ通りに形を描くことができた。</p> <p>☆簡単な形に置き換えて描くことで形をイメージ通りに描くことができた。</p>	<p>◇前時のスケッチを生かして構図を取り、モチーフを大まかな形でとらえて描いている。</p> <p>〈観察・作品(3)〉</p>
表す	1	<p>○モチーフを陰影の視点から見つめ、立体感を表すために、調子をつけるなど鉛筆の使い方を工夫する。</p> <p>本時のめあて 立体感を表すために、鉛筆の使い方を工夫しよう。</p>	<p>☆鉛筆の使い方を工夫して調子をつけることができた。グリップの丸い感じやフレームの厚みを表せるように明暗の感じを見分けて描くことができた。</p>	<p>◇意図に応じて鉛筆の使い方を工夫し、陰影を描いている。</p> <p>〈観察・作品(3)〉</p>
表す	1	<p>○主題を確認し、見通しをもって全体を描き進める。</p> <p>本時のめあて 主題を意識しながら計画的に制作を進めよう。</p>	<p>☆授業の始めに主題を再確認することで、自分が表したかったことを意識しながら制作を進めることができた。残りが2時間なので、今回は細部を中心に描いて完成に近づけたい。</p>	<p>◇主題の実現にむけて見通しをもって意欲的に活動に取り組んでいる。</p> <p>〈観察(1)〉</p>

	2	<p>○主題を効果的に表すために、陰影や質感の表し方を追究しながら細部を描く。</p> <p>本時のめあて 主題を効果的に表すために、よく観察して、細部の描き方を工夫しよう。</p>	<p>☆グリップの汚れやフレームの傷の感じを、指でこすったり、鉛筆を立てて使ったりして工夫して表すことができた。また、モチーフと背景のコントラストを強くしてモチーフを印象的に見せる工夫をした。主題をよく表せたと思う。</p>	<p>◇モチーフをよく観察して、陰影や質感の表し方を追究しながら工夫して細部を描いている。 〈観察・作品(2)(3)〉</p>
振り返る	1	<p>○制作した作品の相互鑑賞を通して、主題や表現の工夫を想像し、よさを認め合う。</p> <p>本時のめあて 主題や工夫を想像したり、よさを認め合ったりしよう。</p>	<p>☆同じものを描いていても画面構成や描き方が違って、主題や表現の工夫を想像しながら鑑賞することができた。また、作者の言葉を聞くと工夫点がよく作品に表れていて、深く作品を見つめることができた。</p>	<p>◇制作した作品の相互鑑賞を通して、主題や表現の工夫を想像し、よさを認め合っている。 〈観察・プリント(1)〉</p>

「細部に込めた思い（素描）」学習シート

年 組 氏名

[学習目標]

[私の主題（表したいこと）]

描くモノ	主題
------	----

[学習計画]

		実施日	めあて	振り返り	確認
計画 (P)	出会う	/			
	広げる	/			
実行 (D)	表す	/			
		/			
		/			
		/			
		/			
確認 (C)	振り返る	/			

[振り返り] 学習目標は達成できたかな？ 学んだこと・考えたこと・できたことをまとめよう。

細部に込めた思い（素描） 1時間目

年 組 番 氏名

①先輩の作品を鑑賞しよう

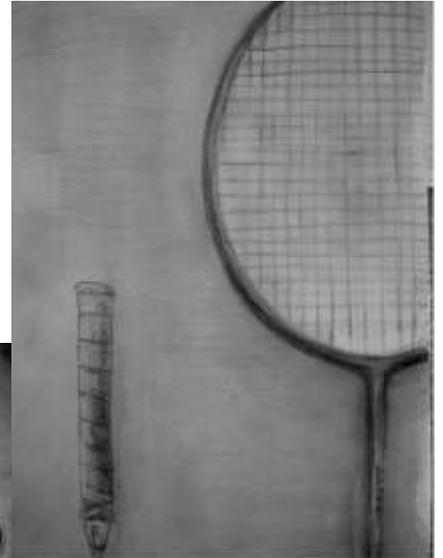
○先輩の作品から1つ選び、表したかったことを想像したり、考えたことをまとめたりしましょう。



A



B



C

• 選んだ作品は、[] です。

• この作品で先輩が表したかったこと（主題）は、

だと思えます。

• 作品を見て気付いた工夫や考えたことは、

です。

• 友人の意見

細部に込めた思い（素描） 2時間目

年 組 番 氏名

②主題（作品のテーマ・表したいこと）を決めよう

○「どうしてそれを選んだのか」「好きな部分」「思い入れ」「思い出」などから「どんなことを表したいか」を考え、計画表の「私の主題（表したいこと）」にまとめます。

[メモ]

③色々なパターンをスケッチしてイメージを膨らませよう

[メモ]

.....
● スケッチをしながら構図で考えたこと・「ここを描きたい!」と思った部分
● などについてメモしよう。
●

